

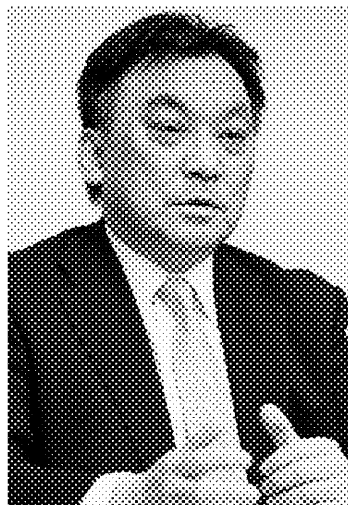
# コンサル拡大 人員3倍増

インドITサービス最大手のタタ・コンサルタンシー・サービス(TCS)と三菱商事の合併会社である日本TCS(東京都港区、垣原弘道社長)は、コロナ禍で加速するデジタル変革(DX)に対応すべく、コンサルディング専従組織「コンサルディング&サービスインテグレーション統括本部(C&S-I)」を拡大する。各事業部門と連携し、顧客に最適なサービスを提供できる体制の強化につなげる。その理由と、人材育成の方針を垣原社長に聞いた。

C&S-I拡大の理 必要。世界でDX実現には大胆 T(モノのインターネ

ット)などの技術力を、3年間で3倍にすもとに、合理性やスピー。各業界に特化したード感を意識したサー約30人のコンサルタンビスを提供する。1日 トとも連携する」

## DX対応サービス最適化



日本TCS社長

垣原弘道氏

以上のトレーニングコ 情報交換を行う。海外ースと資格認定があ の好事例を取り込むたり、オンラインと現場 めサービスラインのり「世界各地のTCS 1以上をグローバルとグループと知見を共有 のやりとりに費やす」できる強みがありま 「コロナ禍で、この動きが加速した。東京の共創拠点『ペースポート東京』と米ニュー

ンライン接続し顧客に 開発に対応すべく、バ海外の事例も体験して ックオフィス(事務管もらうことも可能だ」 理部門)や経営層も含企業デジタルパ め、TCS全体で45万ートナーとしてDX案 7000人が(短期間件を担っています。 に試作と改良を繰り返す。アジャイル開発の「大規模なシステムす)講習を受けた。顧客の統合や、成長のための 講習を受けた。顧客のIT投資が活発化して 要望があれば対応できいる。迅速なシステム る状態だ」

### 記者の目

#### 異業種との共創加速

エコシステム(協業の生態系)の拡大も進めるTCS。2000社超のスタートアップや50以上の大学との共創ネットワーク「COIN」に、日本の大学として初めて東京大学が参画した。世界規模で拡大し続けるエコシステムが、最先端技術やサービスを提供できるカギになっている。(狐塚真子)